

1 当該学年・学期等における探究課題 《小田川の生き物と環境》

2 単元名 『小田川探検隊』 (全30時間=実施時期: 4月~9月)

3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

小田川の生き物に関する調査活動、川と暮らしとの関係や現状について探求する活動を通して、小田川の生き物やそれを取り巻く環境、人々の関わりについて理解し、自分の疑問や関心から課題を設定する。目的に応じて手段を選択しながら情報を収集する力や、複数の情報を比較・分類しながら分析する力を育てるとともに、身近な環境を守っていこうとする態度を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		小田川に行き、生き物調査を行う。生き物が住める川を守っていくためにはどのような取組をすればよいか考える。	実験セットを使って、川の水質について調査する。川の汚れる原因を調べる。	取り組む内容について意見交換したり、内容を整理したり、見直したりする。	決めた取り組みを実行する。取り組んだ感想や意見をまとめる。
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	インターネット・資料の写真を見て、小田川に住む生き物を知る。		水質調査キットを使って、川の汚れ具合を知る。	インターネットで、川の汚れる原因や、川を汚さないための取り組みを調べる。
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>		ゲストティーチャーと共に、生き物調査をし、生き物の生態などの話を聞く。	ゲストティーチャーに話を聞く。	全校児童に、小田川の良さや、小田川を守っていく取り組みを伝える。
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>				地域の方や訪れる人に川を汚さないように呼びかける。
仕掛け・工夫	もの	ふるさと芳井を誇りに思う。	地域の物や人について、進んで調べる。	小田川は芳井の人たちにとって大切な資源や景色であることに気付く。	掲示物等を作って川を汚さないように呼びかける。
	ひと			解決に向け、多様な方法を選択する。	芳井の生命を支える小田川の流れを大切に守ろうと考える。
	しごと(こと)	周りの人へ気配りのある行動をする。			自分の意見を分かりやすく伝える。
アウトプットの工夫		学校や地域に小田川の様子を伝えると共に、小田川を守る取組や呼びかけを考える。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「環境とわたしたちの暮らし」
学習発表会でまとめ発表(パワーポイント)

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

3年生へ まとめ発表、パワーポイントのまとめ方を教える

◆単元のねらい「小田川の生き物に関する調査活動、川と暮らしとの関係や現状について探求する活動を通して、小田川の生き物やそれを取り巻く環境、人々の関わりについて理解し、自分の疑問や感心から課題を設定する。目的に応じて手段を選択しながら情報を収集する力や、複数の乗法を比較・分類しながら分析する力を育てるとともに、身近な環境を守っていこうとする態度を育てる。」

課題設定
情報収集
整理・分析
まとめ・表現

「小田川」について話し合う中で、生き物やそれを取り巻く環境について想起し、関心をもつことができるようにする。



「小田川に住む生き物」の写真を見て、興味をもち、学習課題を立てる。



小田川（今回は支流）に行き、生き物調査をする。



ゲストティーチャーさんから、とれた生き物の名前や、特徴を覚えてもらう。



生き物がたくさん棲める川は、どんな要因をもつ環境なのかということに興味をもつ。



小田川と他の場所との水質の違いを比べて、興味や関心を高める。



小田川の水質がきれいなことを知り、生き物が棲みやすい環境であることに気付くことができる。



学習してきたことをまとめたり、小田川の良さを伝えたり、川を汚す原因を考えたりすることで、環境を守っていくために大切なことの整理を行う。



小田川の生き物や、小田川を守るために、わたしたちにできることをパワーポイントにまとめる。

小田組に依頼を受け、小田川を守ることを呼びかける看板を作る。



調査したことや、自分たちにできることをまとめ、学習発表会で発信した。



小田川に看板をたて小田川を守ることを呼びかけた。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- ゲストティーチャーの方に参加・協力していただきながら、小田川の良さをを知ると共に、小田川の環境を守る取組を考えることができた。
- △コロナ禍の中で活動が制限されていたこともあり、充実しながらも、準備や打ち合わせ等で大変さが残った。
- ☆生き物調査の時期を設定するのが、なかなか大変だった。
- ☆ゲストティーチャーの方に、調査とは別にもう1度来ていただき、質問をする時間を設定できると良い。